

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
アート&デジタルコミュニケーション		選択	1	2.3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
宇賀 美奈子	B302	m.uga	水曜日 11:30~12:50		
授業の目的・概要	<p><目的>人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多角的な視野を培い、異なる背景や視点を尊重できる、多様な自己表現・コミュニケーションの実践を体験する。</p> <p><概要>本科目は1年次に修得したコミュニケーションの基礎を発展させて、多様なコミュニケーションの実態を体験させて、学生の視野・視座の拡充・柔軟を促す学際的科目群である。この授業では、「アート」と「デジタル」というテーマを、社会の観点で見つめ、アート表現や情報技術がコミュニケーションにおいて如何なる特徴・功罪を具備しているか、様々なワークを通して体感してもらい、自分自身の情緒と感性を豊かにさせ、社会実装への展開を考察していく。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	本科目のテーマについての得意不得意は成績に関係しない。苦手意識を持っていたとしても興味・関心が少しでもあれば積極的に楽しんで受講してもらいたい。				
教科書	特に指定しない。				
参考書	講義中に適時紹介する。				
外部教材	講義中に適時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	アートと IT に関するコミュニケーションの実際や理論が多様であることを認識し、自身の自己表現を成長させることができる。			HC(1)、(3)、(4)	
②	アートと IT に関する多様なコミュニケーションの見識を体験して、実際の社会場面で表現・応用する準備学習とすることができる。			HC(2)、(6)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション デジタルなコミュニケーションを学ぶ	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	3	
2	デジタルとアナログのコミュニケーションを比較する①	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
3	デジタルとアナログのコミュニケーションを比較する②	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
4	デジタルとアナログのコミュニケーションを比較する③	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
5	アートなコミュニケーションを学ぶ	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	3	
6	アートによるコミュニケーションを実践する①	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
7	アートによるコミュニケーションを実践する②	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
8	アートによるコミュニケーションを実践する③	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4	
試	/				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	0	100	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	20	20
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	20	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	テーマごとに課題（ワーク）を課し、その内容および取り組みの姿勢を総合的に評価する。課題（ワーク）は授業内だけでなく、授業終了後に提出するものが含まれる。				学内掲示、オフィスアワー、そして、Microsoft Teams を利用して個別にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Teams を用いて諸事の連絡を行うので確認を怠らないこと。 • 8回完結、連続的な演習が多い構成の授業である。受講者は欠席なく、原則、全出席を必要とする。 • 止むを得ずシラバスの変更が生じる場合は授業・Teams 等で周知する。 						